



What new in Dartfish 8

May 2015 Release

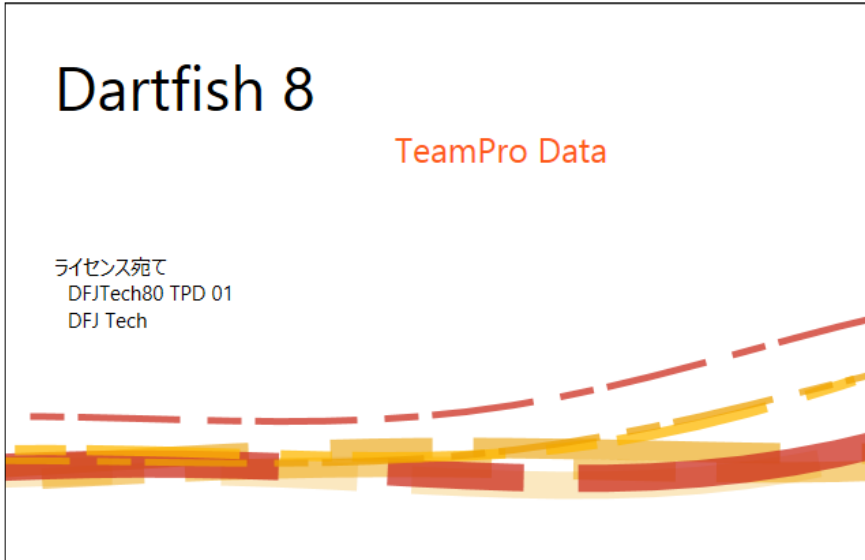
目次

1 はじめに	2
2 新アイコンデザイン	2
3 高 DPI への対応	2
4 オプションダイアログ	3
5 ワークスペース	3
5.1 ワークスペースのカスタマイズ	4
6 タギングの改善点について	8
6.1 キーワードパネル	8
6.2 マトリックス パネル	9
6.3 ゾーンツールのカスタマイズ	10
6.4 イベントに現在時刻をキーワードとして追加	11



1 はじめに

Dartfish 8では、生産性とアプリケーション利用の快適さを改善しています。このリリースノートでは、旧バージョンからの変更点について説明します。



2 新アイコンデザイン

様々なアイコンのデザインが変更されました。

■新モジュールアイコン



■その他のアイコンデザイン



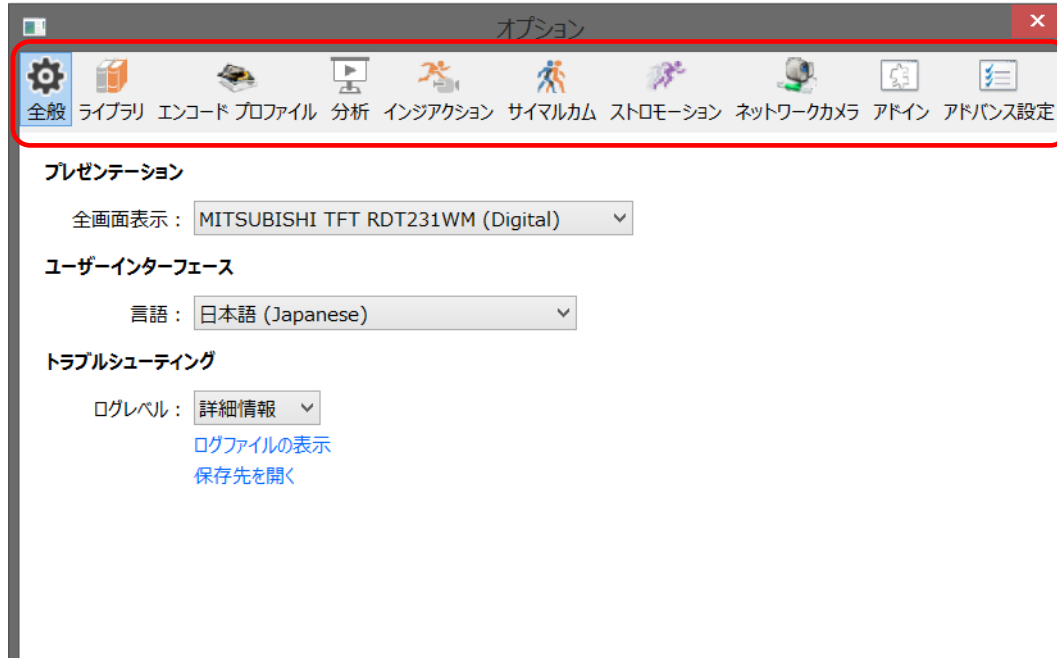
3 高DPIへの対応

市場に高DPIモニターが出現するにつれ、UIに関連する問題も解決されつつあります。



4 オプションダイアログ

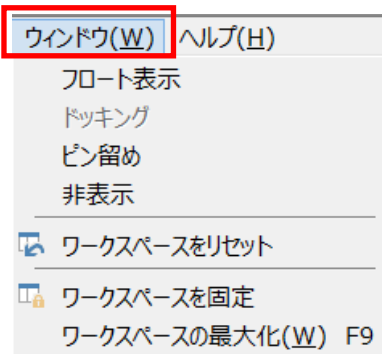
オプションメニューが左側からウィンドウ上部へ移動しました。



5 ワークスペース

8.0バージョンでは、以前のバージョンに比べユーザーはより自由に、アプリケーション内のワークスペース（レイアウト）をカスタマイズすることができます。変更したレイアウトはそのまま保存する事も可能です。さらに、パネルの分割機能が改善され、パネルのフロート表示やドッキング機能等が追加されています。（初回インストール時は、Dartfish 7と同様のワークスペースレイアウトで設定されています。）

ワークスペース管理用に新たに「ウィンドウ」メニューが追加されました。



ワークスペースをリセット：

ワークスペースをインストール時のデフォルトレイアウトにリセットします。

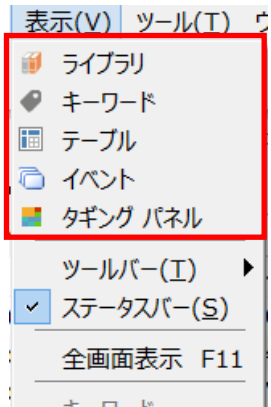
ワークスペースを固定：

ワークスペースを固定/解除します。ワークスペースを固定すると操作ミスによるレイアウト変更を防ぐことができます。固定を解除すると、各ワークスペースのフロート表示や別パネル内へのドッキング、一部のパネルのみをセカンドモニターに表示する等、自由なレイアウト変更が可能です。なお、ロックしていてもパネルのサイズは変更することができます。

ワークスペースの最大化：

アプリケーションメニューを全て閉じ、再生画面を最大化します。（F9キー）

「表示」メニューには各パネルメニューが追加されました。

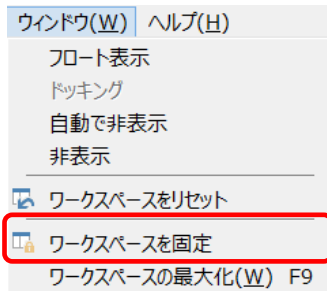


ライブラリ、キーワード、テーブル、イベント、タギング パネル：

選択した項目がワークスペース内から選択されます。（例：パネルがレイアウト内にドッキングしている場合は選択項目がワークスペース内でアクティブになる、パネルが閉じられている場合は画面にポップアップ表示される、等）

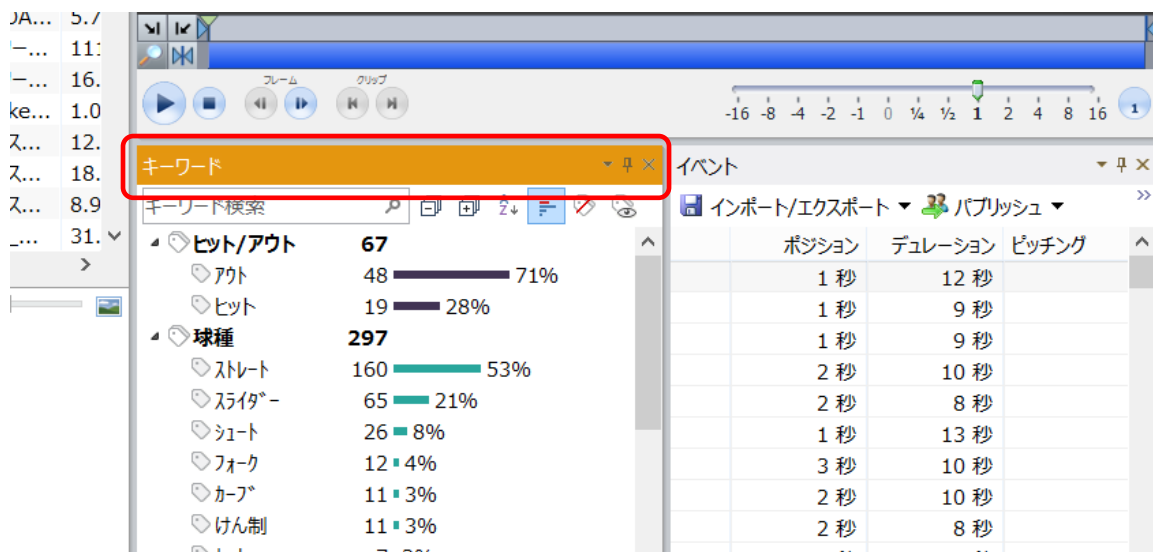
5.1 ワークスペースのカスタマイズ

■ワークスペースの固定を解除するには：



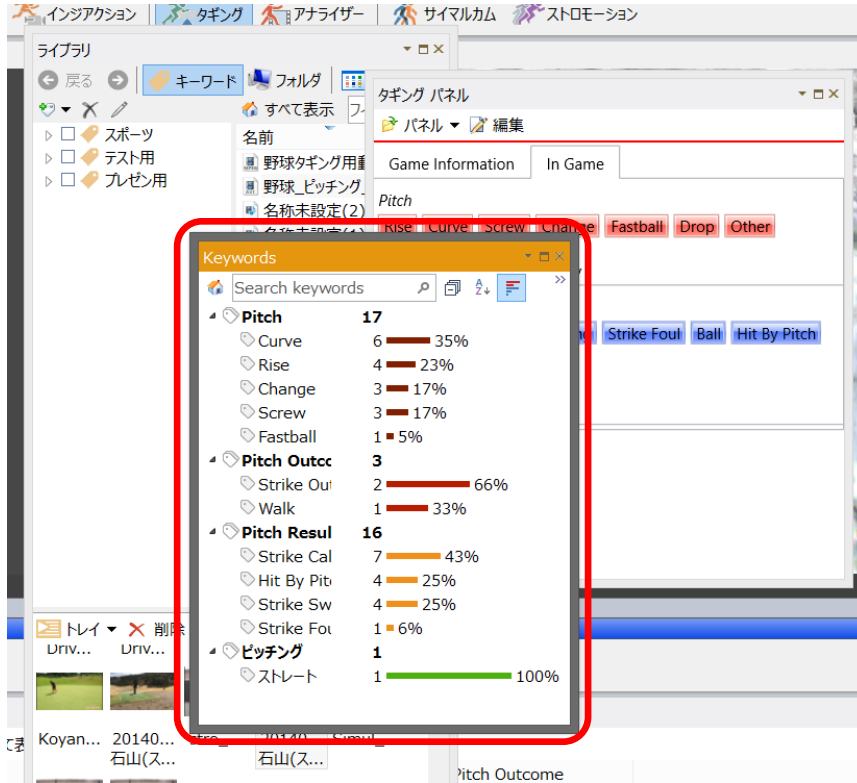
ワークスペースをカスタマイズするには、まず「ウインドウ」メニューから「ワークスペースを固定」をクリックして固定を解除します。（固定状態ではアイコンが青色で表示されます）

固定を解除するとパネルにタイトルバーが表示され、それぞれ個別に選択できるようになります。オレンジ色で表示されているタイトルバーが、現在選択されているパネルになります。



■ドッキングを解除するには：

ドッキングを解除するには、タイトルバーをつかみそのまま移動させます（クリック&ドラッグ）。これにより、選択したパネルをウィンドウ化することができます。ウィンドウ化されたパネルは、画面内を自由に移動させることができ、セカンドモニターでの表示や最大化、そして他のパネルとドッキングする事もできます。

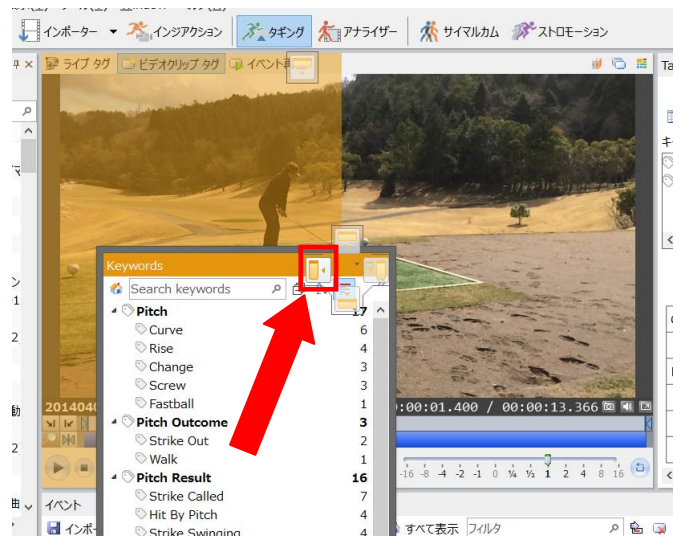


■他のパネルへドッキングするには：

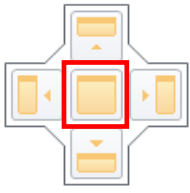


ドッキングさせたいパネルまでドラッグすることで表示されるドッキングインジケータ（左図）を利用します。インジケータには上下左右と真ん中にアイコンが設置されており、それぞれのアイコンの上にマウスオーバーすることで、該当パネル内の対応した位置（右図オレンジ色で表示された部分）にパネルをドッキングさせることができます。

一旦他のエリアにドッキングされると、その該当エリアのサイズ変更や、閉じる、といったアクションの影響を受けません。（特に該当パネルを閉じると一緒に閉じられてしまうのでご注意ください）



■他のパネルと重ねてタブ化するには：



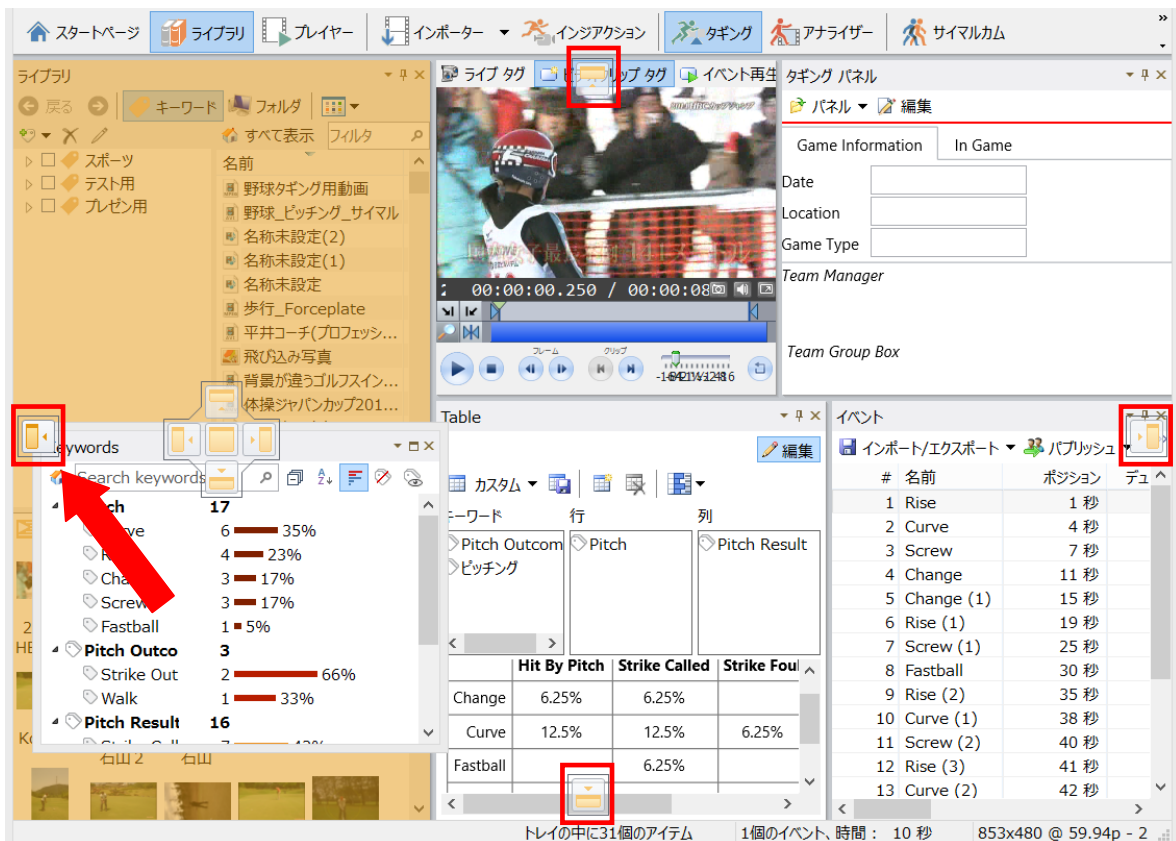
タブ化したいパネル上に表示されるインジケータの真ん中のアイコンにマウスオーバーすると、右図のようにパネル同士を重ねてタブ化することができます。

(ただし動画再生パネルとのタブ化はできません。)



■パネル単独で配置するには：

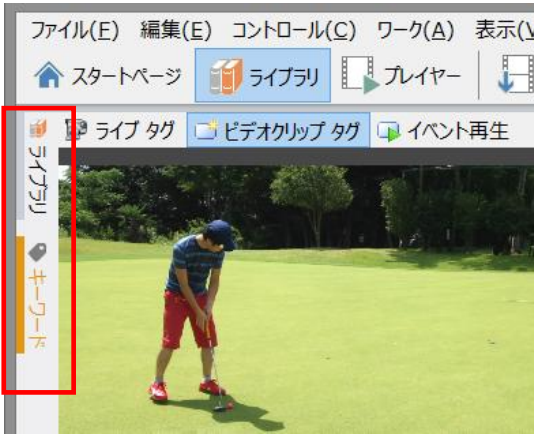
ドッキングインジケータとは別にDFSW8.0内の上下左右にもインジケータは表示され、このインジケータへパネルをマウスオーバーすると、単独のパネルとして画面の上下左右に配置することも可能です。下図の場合はキーワードパネルを単独のパネルとしてDFSW画面左側（オレンジ色）に表示します。



■パネルのピン留め機能（最小化）について：



パネルはウィンドウ化した状態から、ピン留め機能（左図赤枠）を利用し画面の端へ最小化することができます。



パネルをピン留めすると、ソフトウェアの外枠に沿って上下左右近い方向へ最小化されます。（左図赤枠）

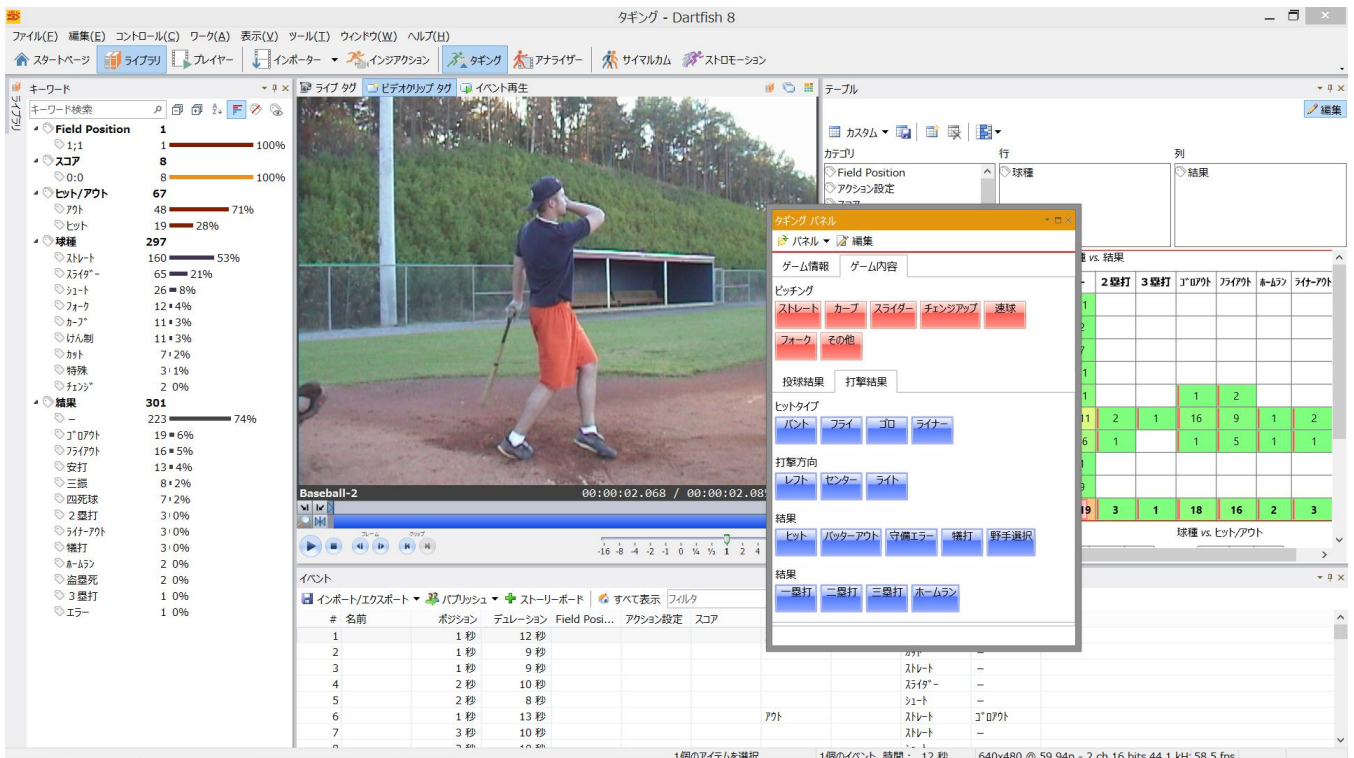
ピン留めされているパネルをクリックすると再度表示されますが、画面の別のエリアをクリックするとまた最小化されます。



ピン止めを解除するには、画面上に再表示した状態でピン止めアイコンを再度クリックします。

このように、8.0バージョンではソフトウェアのレイアウトをユーザーの自由にカスタマイズすることができるようになっています。なお、ウィンドウメニューの「ワークスペースをリセット」を選択することで、インストール時のデフォルトレイアウトに復元することができます。

下図はカスタムの一例です。



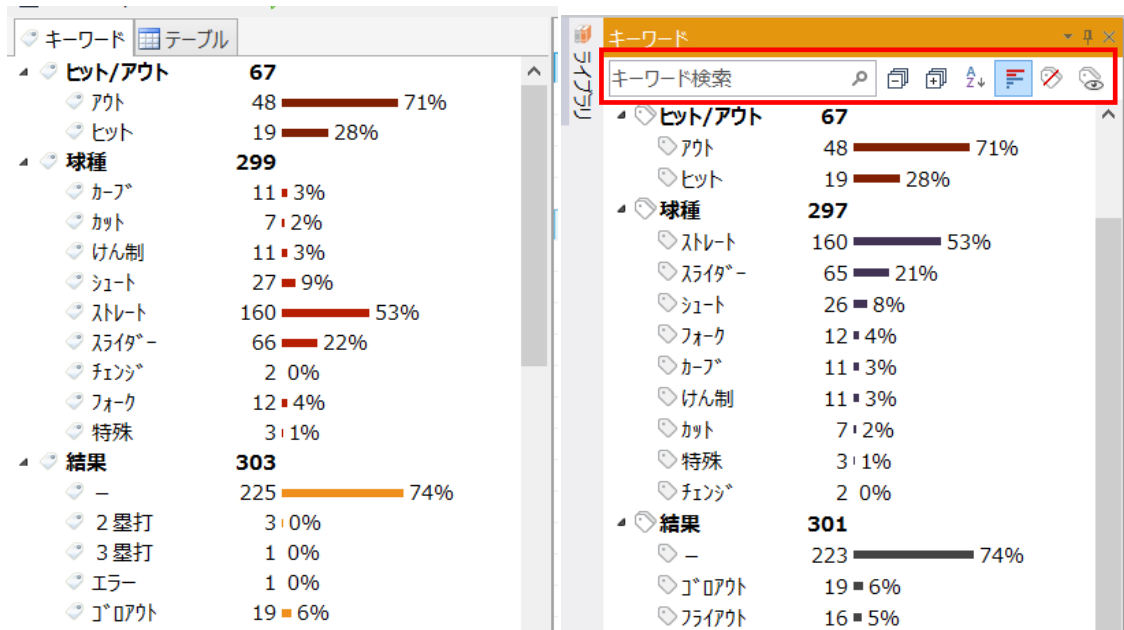
6 タギングの改善点について

以下の改良がタギングに追加されました。

6.1 キーワードパネル

キーワードリストが使用頻度順に表示されるようになりました。これにより使用頻度の高いキーワードが一目瞭然になります。下図は7.0バージョンのキーワードリストとの比較です。

(左が7.0で右が8.0)



8.0バージョンではキーワードリストには「キーワード検索」をはじめ、様々なソート機能が追加されています。

- すべて展開：**
折りたたまれているキーワードを全て展開表示します。
- すべて折りたたむ：**
展開されているカテゴリを全て折りたたみます。
- リスト表示：**
全てのカテゴリとキーワードを一覧表示 ⇄ カテゴリ別に表示
- 統計を表示：**
カテゴリ別表示の際に、キーワードを使用頻度順に統計バー表示する。
- 選択したキーワードを非表示：**
選択カテゴリ/キーワードを非表示にします。（複数選択可）この状態でもタギング可能です。
- キーワードを再表示：**
「選択したキーワードを非表示」で非表示したキーワードをリスト内に再表示します。

6.2 マトリックス パネル

統計テーブルを表示する際、オプションを全て非表示できるようになりました。さらに最大5つのテーブルを並べて表示することができます。構成したマトリックスはプリセットとして保存する事も可能です。

球種 vs. 結果													
エラー	三振	四死球	安打	犠打	盗塁死	-	2塁打	3塁打	ゴロアウト	フライアウト	ホームラン	ライナーアウト	総計
けん制						3.69%							3.69%
特殊			0.34%			0.67%							1.01%
カット						2.35%							2.35%
カーブ						3.69%							3.69%
シュート			0.67%			7.38%			0.34%	0.67%			9.06%
ストレート	1.68%	1.34%	1.68%	1.01%	0.34%	37.25%	0.67%	0.34%	5.37%	3.02%	0.34%	0.67%	53.69%
スライダー	0.34%	1.01%	1.01%	0.67%		15.77%	0.34%		0.34%	1.68%	0.34%	0.34%	21.81%
フィンガ			0.34%			0.34%							0.67%
フォーウ			0.67%		0.34%	3.02%							4.03%
総計	0.34%	2.68%	2.35%	4.36%	1.01%	74.16%	1.01%	0.34%	6.04%	5.37%	0.67%	1.01%	100%

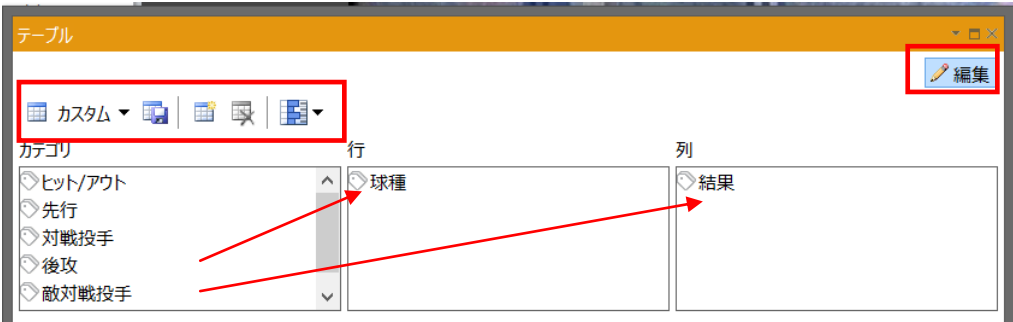
球種 vs. 結果ヒット/アウト												
エラー	三振	安打	2塁打	3塁打	ゴロアウト	フライアウト	ホームラン	ライナーアウト	総計			
特殊		1.54%							1.54%			
シュート		3.08%			1.54%	3.08%			7.69%			
ストレート	7.69%	7.69%	3.08%	1.54%	24.62%	13.85%	1.54%	3.08%	63.08%			
スライダー	1.54%	4.62%	3.08%	1.54%	1.54%	7.69%	1.54%	1.54%	23.08%			
フィンガ		1.54%							1.54%			
フォーウ		3.08%							3.08%			
総計	1.54%	12.31%	20%	4.62%	1.54%	27.69%	24.62%	3.08%	100%			

対戦投手 vs. 結果												
三振	四死球	安打	犠打	盗塁死	-	2塁打	3塁打	ゴロアウト	フライアウト	ホームラン	ライナーアウト	総計
1	2	3	1		8			2				14
1	2	3			52	1	6	5			1	71
1	1			1	31		2	2				38
					7	1		1				9
					12			2	1			15
総計	2	3	6	1	110	1	1	8	12	1	1	147

敵対戦投手 vs. 結果												
エラー	三振	四死球	安打	犠打	盗塁死	-	2塁打	ゴロアウト	フライアウト	ホームラン	ライナーアウト	総計
						1		1				2
	2		3	1		19		1				26
1	3	2	4	1	1	74	2	7	3	1	1	100
		1				5						6
		1				3						4
	1					13		2	1		1	18
総計	1	6	4	7	2	115	2	11	4	1	2	156

対戦投手 vs. 球種							
けん制	カット	カーブ	シュート	ストレート	スライダー	フィンガ	総計
1				7	4	2	14
1	7	5	14	33	11		71
4				21	8		33
			5	2	3		10
			5	9	1		15
総計	6	7	5	24	72	2	143

編集ボタンから編集画面に切り替えることができます。編集モードでは使用しているカテゴリが一覧表示され、ドラッグ&ドロップで行と列に配置することができます。各編集ボタンの詳細は以下を確認してください。



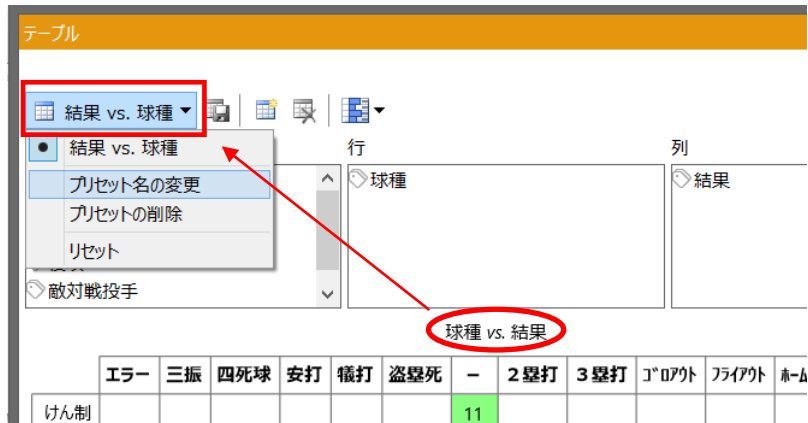
カスタム：プリセット名の編集や、プリセットの削除を行う事ができます。（事前にプリセットの保存が必要）

テーブルの追加：新しい統計テーブルを追加します。最大5つまで追加することができます。

テーブルを閉じる：選択しているテーブルを一覧から削除します。テーブルが1つしか表示されていない場合は削除できません。

セルの形式：テーブルの外観を設定することができます。

プリセットの保存：現在の行 / 列の設定を新規プリセットとして保存します。プレイセット名はそのテーブル名がデフォルトで登録されますが、カスタムからプリセット名を変更することができます。



6.3 ゾーンツールのカスタマイズ

■新プロパティ - ゾーン

ゾーンツールに新プロパティ「ゾーン」が追加されました。この機能を利用することで、イベントに対しエリア情報ではなく任意のキーワードを割り当てることができます。今まで通りエリア情報のみを記録する事も可能です。「ゾーン」プロパティを編集するには、下図矢印の編集ボタンをクリックします。



デフォルトで用意されているイメージはサッカーコートのみです。

■ゾーン - 使い方

ゾーンの編集パネルから以下を設定します。

- **ゾーン追加**：ゾーンを追加します。
- **ゾーン削除**：ゾーンを削除します。
- **横幅 / 縦幅**：追加したゾーンの大きさを+/-キーで変更します。
- **キーワード**：任意のキーワードを入力します。



追加したゾーンはクリック&ドラッグで移動することができます。これを繰り返し、必要なエリア分ゾーンを追加します。なお、1つのイメージに追加できるゾーンは最大で64個で、カテゴリは1つのみです。また実際にタギングを行っている最中は、追加したゾーンは表示されません。

6.4 イベントに現在時刻をキーワードとして追加

ボタンプロパティのキーワードに\$(WallClock)を指定することで、イベントを記録した際の現在時間（PC ベース）をイベントに記録することができます。この機能を固定キーワードで利用すれば、常に現在時刻を記録することができます。

ラベルの表示	はい
ツールヒント	このボタンがオンの間に作成された...
ショートカット キー	
配置	垂直
イメージ	
イメージ サイズ	固定サイズ
スタイル	■
余白	デフォルト
☐ イベント	
カテゴリ	現在時刻
キーワード	\$(WallClock)
☐ インターアクション	
カテゴリのリセット	
トリガー	